

セイコークォーツデジタル  
ストップウォッチ  
セイコーシステムプリンタ  
取扱説明書 INSTRUCTION

**S143・SP12**

このたびは「セイコーデジタルストップウォッチS143」  
「セイコーシステムプリンタSP12」をお買い上げいただき  
ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しく  
ご愛用くださいますようお願い申し上げます。なおこの  
取扱説明書はお手もとに保存し、必要に応じてご覧下さい。

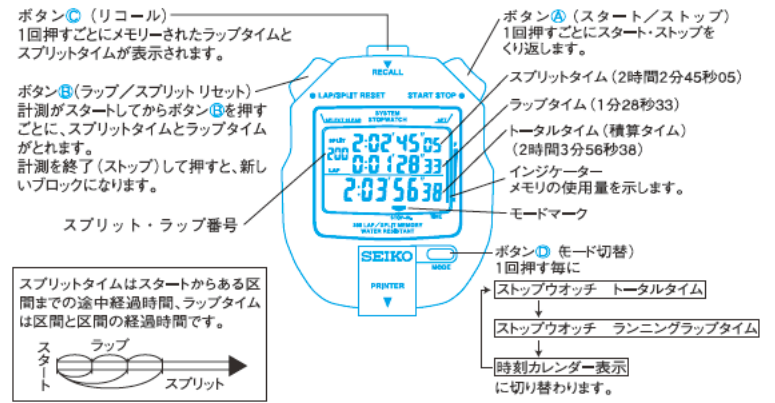
## 1 S143の主な特長

セイコーストップウォッチS143は、プリンターと接続して計測データを即時に印字処理できる「プリントアウト機能」付きデジタルストップウォッチです。スプリット・ラップ・トータルタイム又は計測中ラップタイムを同時に確認できる「3段表示の大型パネル」と計測データの「メモリー機能」を備えています。3気圧防水構造ですので、雨天時や水しぶきのかかりやすいスポーツでも安心してご使用いただけます。

- 3段表示の大型パネルを採用……トータルタイム（スタートからの経過時間）又はランニングラップタイム（現在計測中のラップタイム）、スプリットタイム（途中経過時間）、ラップタイム（区間経過時間）を同時に見やすく表示。
- メモリー機能……300本までの容量を持ち、スタートからストップ/リセットまでの一連のデータを「ブロック」として扱い、前のデータを消さずに別ブロック（最大100ブロック）でメモリーします。データの日時別管理に最適です。
- その他、個人別管理に役立つID設定機能、メモリー使用量インジケーター、最速ラップ呼出機能など便利な機能を盛り込みました。
- ストップウォッチを使用しないときにはカレンダー付時計としてもご利用いただけます。
- 本体に抗菌材を使用しております。  
※経年変化やご使用の状態によって抗菌効果は低下いたします。

## 2 ストップウォッチの使いかた①各部の名称と働き

● ボタン①を押してストップウォッチ トータルタイム表示にしてください。



## 2 ブロックについて

## 3 普通の使いかた

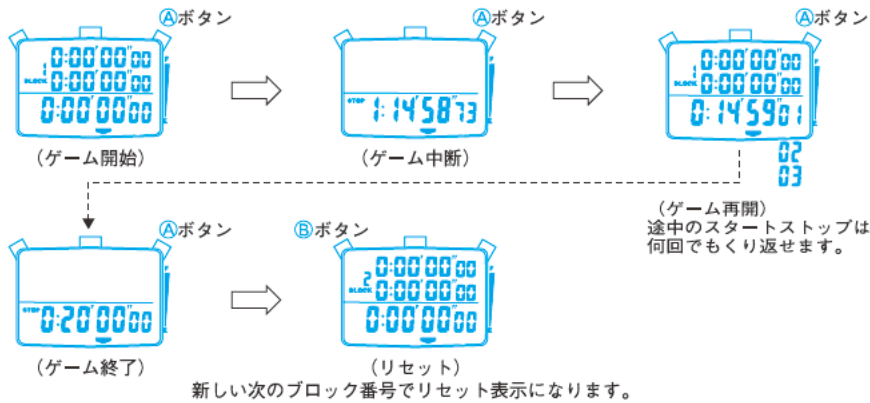
- ・ S143は、「ブロック」方式を採用しており、スタートからリセットまでの計測データをひとつのブロックとしてメモリーします。
- ・ 各ブロックには、スタート日時が自動的にメモリーされます。
- ・ スタートする前にこれから計測する「ブロック」に番号が付きます。
- ・ 300データ分のメモリーを使いきるまで、計測したデータをメモリーすることができます。
- ・ ひとつのブロックでは最低3個のメモリーが必要になります。よって、複数ブロックをメモリーした場合、各ブロック内のラップ/スプリットデータ数の合計が300になる前にメモリーが満杯になります。

ボタンを押す順序 ④→①→②



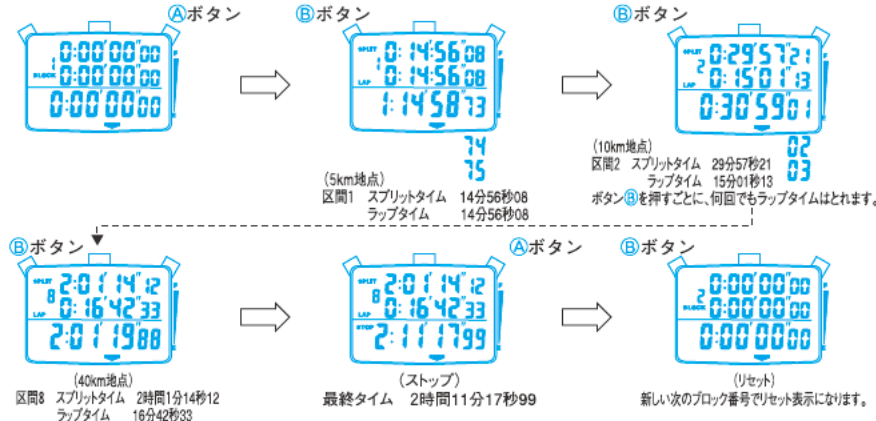
## 4 時間計測を積算で行うとき

ボタンを押す順序 ④→①→①→①→①→①→②



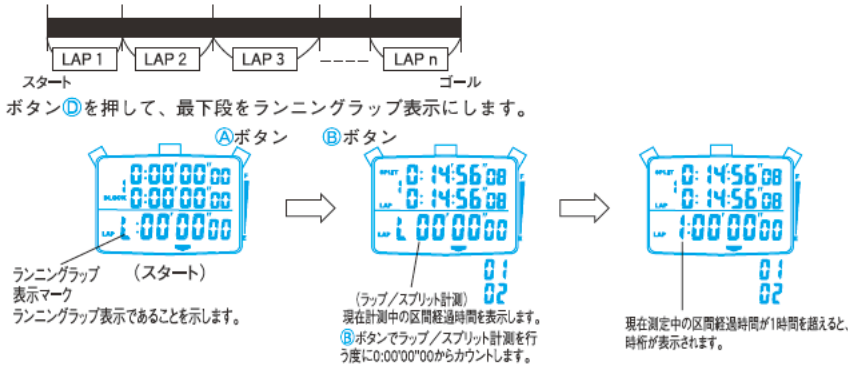
## 5 スプリット、ラップの使いかた(最下段トータルタイム表示の場合:例マラソン)

ボタンを押す順序 ④→②→③→③→③→③→③→①→②



## ⑥ スプリット、ラップの使いかた (最下段ランニングラップ表示の場合)

ランニングラップタイムの計測…最新の区間経過時間を表示させながら区間経過時間を計ります。



## ⑦ メモリーの呼び出しについて

- 計測し、メモリーされたデータ(最大300データ)を呼び出し、見ることができません。
- データを表示させる以外に、データをプリントすることもできます。  
→ 「4の⑤データのプリント」を参照
- ボタンCを1回押すごとにメモリーしたタイムが呼び出され、押しつづけると連続して呼び出されます。
- タイム計測中(ストップウォッチ動作中)でもメモリーしたタイムを呼び出せます。
- プリンタを接続して計測しながらプリントした時も、タイムはメモリーされます。

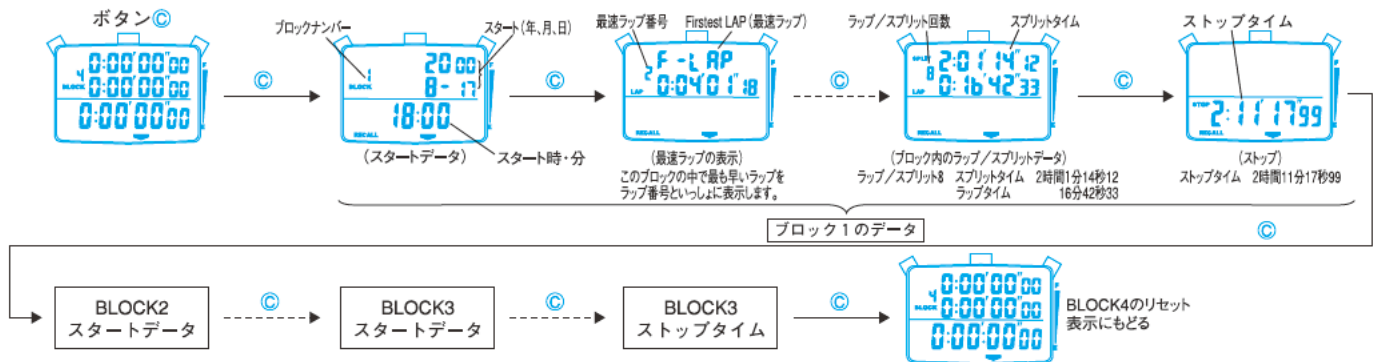
・タイムの呼び出し方向

	ボタンCを押すごとに
ストップウォッチが停止しているとき	古い順にタイムを呼び出します
ストップウォッチが動いているとき	新しい順にタイムを呼び出します

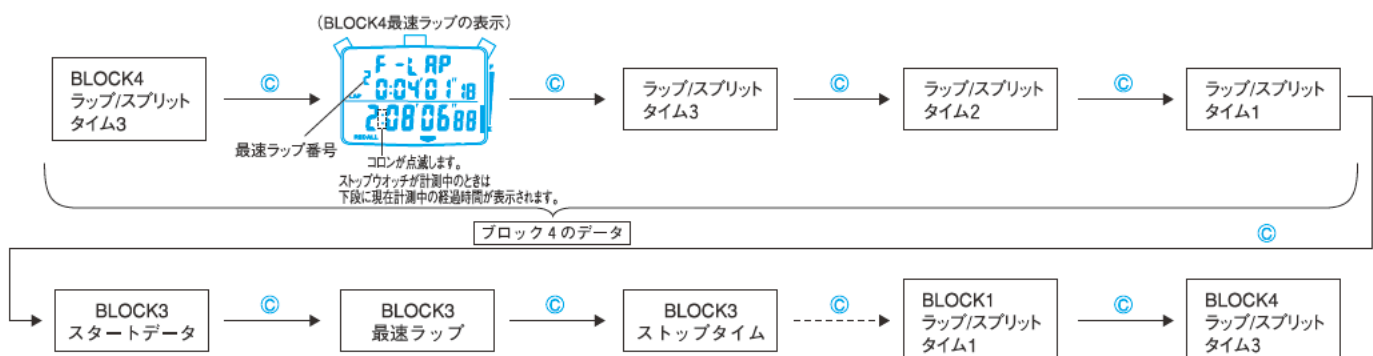
・メモリー呼び出し(リコール)中のボタン操作

リコール前の状態	ボタンA	ボタンB	ボタンD
リセット	リコール前に戻る	メモリークリア	リコール前に戻る
ストップ	リコール前に戻る	リコール前に戻る	リコール前に戻る
計測中	計測STOP	LAP/SPLIT計測	リコール前に戻る

- ストップウォッチがリセット状態、またはストップ状態のとき：  
BLOCK1のスタートデータから古い順にメモリ内容を表示します。  
(例：現在の表示がBLOCK4 リセット状態の場合)



- ストップウォッチが計測中のとき：  
新しい順にメモリー内容を表示します。  
(例：現在の表示がBLOCK4 ラップ/スプリット計測3回終了時点の場合)



## ⑧メモリーの消去のしかた

- こんなときに、メモリー消去が必要になります。
  - 不要になった計測データを消したいとき
  - これから計測しようと思うが、メモリーの残量が少なくオーバーしそうとき
- メモリーの消去とは、メモリーを全て消すことになりません。ブロック単位やデータ単位での消去はできません。

- ボタン③(CLEAR)を1.5秒以上押し続けてください。ボタン③(CLEAR)を押している間このような表示と共に「ビビビビ...」という警告音がします。1.5秒以上押しつづけると、長い報音(ビー)とともにメモリーの消去が終了します。



(メモリークリア操作)

※メモリークリア操作をすると、モードマークがリコールマーク側によります。すべてのデータが消去され、ブロック1のリセット状態にもどります。※ボタン③を1.5秒以上押さない場合は、メモリーは消去されません。

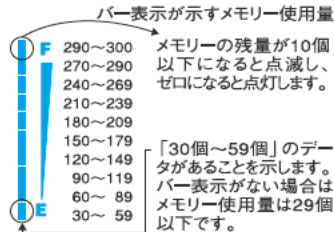
- ストップウォッチが計測中やストップ状態ではメモリーの消去はできません。ストップウォッチをリセット状態にしてください。
- ボタン③を押してください。リコール状態ならば、どのメモリーを表示していてもメモリー消去をすることができます。



## ⑨メモリー使用量について

- メモリーをどのくらい使用しているのかをインジケータで表示します。各ラップまたはスプリットの他に、スタート及びブロックナンバーも2個のメモリーとして使用しますので、1つのブロックでは最低3個のメモリーが必要になります。よって、複数ブロックをメモリーした場合、各ブロック内のラップ(またはスプリット)データの合計が300になる前にメモリーが満杯になります。

- インジケータの見かた  
10個のバー表示でメモリーの使用量を段階的に表示します。1個のバーが「データ30個分」に相当し、下からそのメモリーの使用量を表示します。



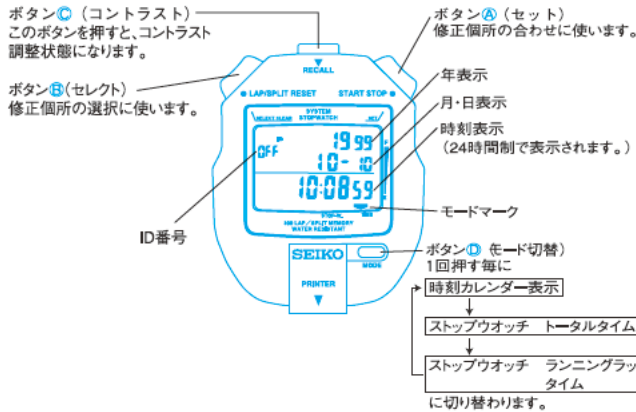
- メモリーの呼び出し中のデータ案内  
メモリー呼び出し中は、呼び出しているメモリーをバーの点滅で表示します。下図では210個~239個のデータがメモリーされていて、現在その真中あたりのメモリーを呼び出していることを示します。



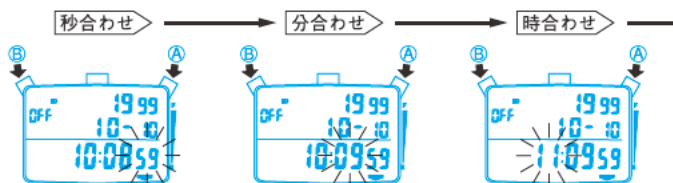
- メモリーが満杯になった場合
  - 全てのバーが点灯します。
  - 301個目以降の計測は表示されますが、メモリーされませんので後から呼び出すことはできません。

## ⑩時計・カレンダー表示①各部の名称と働き

- ボタン①を押して時計・カレンダー表示にしてください。



## ⑩時計・カレンダーの合わせかた

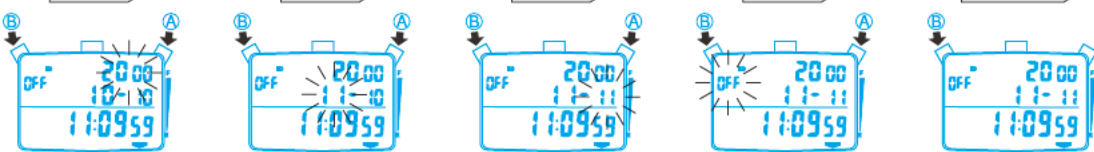


- ボタン③を押すと(秒)が点滅します。
- 時報と同時にボタン②を押すと00秒に合います。
- ボタン③を押すと(分)が点滅します。
- ボタン②を押すごとに1分ずつ進みます。
- ボタン③を押すと(時)が点滅します。
- ボタン②を押すごとに1時間ずつ進みます。

※秒表示が30~59秒の時にボタン②を押すと分が1分くり上って00秒に合います。  
※ボタン②を押すつづけると数字が早く変わります。時・年・月・日・ID合わせの場合も同様です。

※(時)は24時間制で表示されます。

## ⑩時計・カレンダーの合わせかた (続き)



- ボタン③を押すと(年)が点滅します。
- ボタン②を押すごとに1年ずつ進みます。
- ボタン③を押すと(月)が点滅します。
- ボタン②を押すごとに1月ずつ進みます。
- ボタン③を押すと(日)が点滅します。
- ボタン②を押すごとに1日ずつ進みます。
- ボタン③を押すとID番号が点滅します。
- ボタン②を押すごとにID番号が1ずつ進みます。OFF→01→02→...99→OFF
- ボタン③を押すと修正は完了します。

●ボタン③を押すごとに次の順序で修正箇所(点滅)が替わります。

時刻表示 年 月 日 曜日 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0

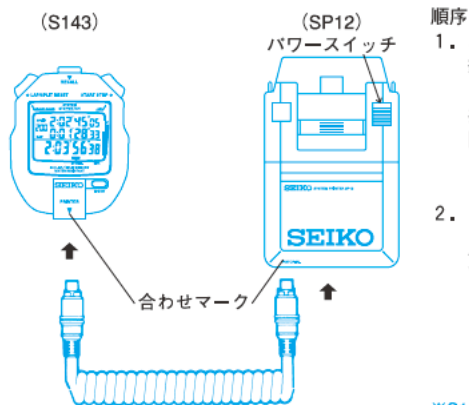
(修正状態)

どの部分も単独で合わせられますので、合わせたい所をボタン③で選びボタン②で合わせてください。

※カレンダーは1999年~2048年まで年・月・日がプログラムされており、月の大小はもちろんうるう年でも月・日の修正は必要ありません。



## ④ ストップウォッチとの接続方法



順序

1. ストップウォッチ (S143) とプリンター (SP12) のコード接続部に接続コードを右図の位置を持ってカチッと音がするまで確実に差し込んでください。(プリンター側、ストップウォッチ側の区別はありません。) 接続コードの差し込み部には位置決め用の溝がありますので、差し込む際にご確認ください。



位置決め用の溝を合わせる。

2. ご使用後はプリンター (SP12) の電源スイッチをOFF側にしてから、コードを抜き取ってください。このとき、右図に示す位置を持って抜き取ってください。



プリンターSP12はそれぞれ旧機種であるS123、S124とも互換性を持っており接続可能です。

※S143はSP11との接続はできません。

## ⑤ データのプリント

### 計測中のプリント

- ストップウォッチとプリンターを接続し、プリンターの電源スイッチをONにします。
- 計測データのプリント
  - スタートすると、下記のデータがプリントされます。
  - ID番号 (ID番号が設定されている場合)
  - ブロック番号
  - スタート 年月日 時刻
  - 計測されたタイムは、プリントと同時に300データまで自動的にメモリーされます。
  - ※計測開始後、プリンターの電源スイッチをONにした場合、次の計測データからプリントされます。

### 「ブロックを選択してプリント」

- メモリー呼び出し  
プリントしたいブロックを表示させます。  
そのブロック内のデータであればどのデータであってもかまいません。
- プリンターを接続して、電源スイッチをONにします。
- 選択したブロックのプリント  
ボタンCを押します。  
ストップウォッチがプリンターの接続を確認すると、「Print」が点滅します。

### 計測後のプリント

- メモリーされたデータは、何度でもプリントすることができます。
- プリントには「ブロックを選択してプリント」/「全てのブロックをプリント」の2種類があります。



- 「Print」が点滅を始めて直ぐにボタンCを離すと、プリントは中止され、元の画面に戻ります。
- 1秒ほど押し続けてボタンCを離すと、選択したブロックのデータが高速に表示された後、プリントされます。(高速表示中に最速ラップを探しています)

### 「全てのブロックをプリント」

- プリンターを接続し、電源スイッチをONにします。
- メモリーを呼び出した後ボタンCを押します。「Print」が点滅します。
- 全てのブロックのプリント
  - さらにボタンCを押すと、「Print ALL」が表示されます。
- ここでボタンCを離すと、ブロック1から順に全てのブロックが高速に表示された後、プリントされます。(高速表示中に各ブロックの最速ラップを探しています)

#### 注意事項

- ※プリント中は、全てのボタンが効かなくなります。
- ・プリント中に、プリントのキャンセルはできません。
- ・プリント前の高速にデータを表示しているとき、および、プリント中は、プリンターの電源スイッチをOFFにしたり、接続コードを外さないでください。故障の原因になります。



そのブロックの最後のストップタイムが表示されます。



(全ブロックプリント)

## ⑥ スプリットタイムとラップタイムのプリント

- プリンターのスイッチ切り換えで、スプリットタイムのみをプリントする場合とスプリットタイムとラップタイムの両方をプリントする場合とに使い分けができます。

プリンターのスイッチ	プリンターからのプリント (印字)
↓ LAP SPLIT SPLIT	BLOCK: 1 年・月・日 1999 10 10 スタート時刻 START 10:19 スプリットタイムのみ印字 SPLE 1位 タイム 1-0:05 03 76 2位 + 2-0:05 12 93 3位 + 3-0:05 41 13 4位 + 4-0:05 59 06 5位 + 5-0:05 17 86 6位 + 6-0:05 43 56 7位 + 7-0:07 21 47 8位 + 8-0:07 36 46 最速タイム /S/O:08 02 58 (または最速タイム)
↑ LAP SPLIT SPLIT	ID: 1 年・月・日 1999 10 10 スタート時刻 START 10:19 スプリット+ラップタイム SPLIT/LAP 区間1 (スプリットタイム) 1-0:18 05 39 ラップタイム 0:18 05 39 区間2 (スプリットタイム) 2-0:36 37 78 ラップタイム 0:18 32 45 3 0:55 19 11 4 0:18 35 39 5 4-1:13 25 34 6 0:18 12 23 7 5-1:31 57 55 8 0:18 32 21 9 6-1:49 32 78 10 0:17 35 23 11 7-2:07 31 04 12 0:17 58 26 13 8-2:25 43 62 14 0:18 12 65 15 /S/O:34 02 77 最速タイム

※順位(または区間)の表示は1～99まで、100位(または区間)は0となり、以降1からくり返します

## ⑦経過時刻のプリント

- ・ストップウォッチ機能と同様に、スタート、途中経過時刻、ストップ時刻をプリントすることができます。
- ・経過時刻は、メモリーされません。
- ①ストップウォッチをリセット状態にしてください。
- ②時刻・カレンダー表示にしてください。
- ③ストップウォッチ機能と同様に計測します。

(スタート) A

年月日 1999 10 10  
スタート時刻 (10時10分00秒) ST-10 : 10' 00  
1 回目 に 測 っ た 時 刻 (10時10分21秒) 1-10 : 10' 21  
2 2-10 : 10' 25  
3 3-10 : 10' 28  
4 4-10 : 10' 31  
5 5-10 : 10' 33  
6 6-10 : 10' 36  
7 7-10 : 10' 39  
8 8-10 : 10' 50  
9 9-10 : 10' 59  
10 10-10 : 11' 03  
ストップした時刻 (10時11分6秒) /S/10 : 11' 06

ID : 20  
1999 10 10  
ST-10 : 10' 00  
1-10 : 10' 21  
2-10 : 10' 25  
3-10 : 10' 28  
4-10 : 10' 31  
5-10 : 10' 33  
6-10 : 10' 36  
7-10 : 10' 39  
8-10 : 10' 50  
9-10 : 10' 59  
10-10 : 11' 03  
/S/10 : 11' 06

(ストップ) A

## ⑤お取り扱い上の注意①プリンター使用上のご注意 ②ストップウォッチ使用上のご注意

- (1) 計測中にパワースイッチをオンにした場合、それ以降の計測したタイムがプリントされます。
  - (2) プリンターの作動中に、ロールペーパーを引き抜いたり、引き戻したりしないでください。また、ロールペーパーがセットされていない状態で、印字させようとする動作(空印字)は避けてください。故障の原因になります。
  - (3) プリンターをご使用にならないときは、必ずパワースイッチをOFF側にしてください。
  - (4) コードを抜くときは、コードを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。
- (1) プリンターなどを使用しないときは、必ずジャックキャップを付けてください。

## ③ロールペーパー (感熱紙) について

本機のプリント(印字)方式は、感熱紙を加熱して発色させる感熱式ですので、インクの交換等は不要ですが、感熱紙をお使いいただくとき、次の点に注意してください。

- 新しい感熱紙を保存する場合は、乾燥した涼しい場所で、箱等に入れて(光に当たらないように)保存してください。
- 感熱紙のプリント面(プリントする面、あるいはプリントされている面)には、手の汗や油をつけないようにしてください。プリントができなくなったり、文字が薄くなったりします。
- プリンター(SP12)付属の感熱紙(S950)の他に2800行まで印字可能な長手のS951もあります。S951ご使用の際は、別売専用ペーパーホルダーSVAZ007が必要となります。

●プリント(印字)した感熱紙を保存する場合は、次の点にご注意ください。

- (イ) 明るい光に長時間当てないでください。プリントが薄くなる場合があります。
- (ロ) 高温、湿気、日光はさけてください。感熱紙が変色することがあります。
- (ハ) 台紙等に貼って保存する場合、揮発性有機溶剤を含んだ糊、接着剤は使用しないでください。また、セロテープのご使用もさけてください。感熱紙が変色することがあります。澱粉系の糊、合成糊等をおすすめします。
- (ニ) アンモニアを用いる複写機でコピーした直後のコピー紙には近づけないでください。感熱紙が変色します。
- (ホ) 塩化ビニールのフィルムなどに長時間接触させないでください。感熱紙が変色したり、プリントが薄くなったりします。

※感熱紙は必ず本機専用のロールペーパー(S950又はS951)をご使用ください。これ以外のロールペーパーを使用した場合は印字不良や故障の原因になります。

## ④液晶パネルの交換

この時計の液晶パネルは、7年を過ぎますと、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。お買い上げ店に交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

## ⑤電池についてのお願いとご注意

●電池について

(1) 電池寿命

この時計は、新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約3年間作動します。

※S143の電池寿命は、ストップウォッチ動作3時間/1日を基準としておりますので、それ以上使用した場合は3年に満たないうちに容量が切れます。

●プリンタは新しい正常な電池を組み込んだ場合、マンガン単3乾電池4本で約10,000行(ロールペーパー約14本分)プリントできます。また、アルカリマンガン乾電池では、マンガン乾電池の約2倍のプリントができます。(24℃で連続してプリントした場合)

※低温では、電池の働きが弱まるため、プリントできる行数が減ります。低温で連続してご使用になるときは、アルカリマンガン乾電池のご使用をおすすめします。

●次のような現象は、乾電池の消耗を示しています。

(パワースイッチがON側にある状態で)

- (イ) プリント(印字)のスピードが遅くなる。
- (ロ) 字にムラやカケが出てくる。

- (ハ) 印字が薄くなる
  - (ニ) 紙送りしない、あるいは紙送りが不規則になる
  - (ホ) プリントができない
- これらの現象が出てきましたら、「④の②乾電池の入れかた」に従って、新しい乾電池と交換してください。

(2) 最初の電池

お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。

(3) 電池交換

- ①電池交換は、必ずお買い上げ店で「純正電池」とご指名の上、ご用命ください。
- ②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
- ③電池交換は、保証期間内でも有料となります。
- ④電池交換で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能にあった防水検査をご依頼ください。特に10気圧以上のものは検査が必要です。防水検査は日数を要しますので、期間をご確認のうえご依頼ください。

(4) 電池寿命切れ予告機能（ストップウォッチ）

●電池マーク「BATT」が点滅を始めたら寿命切れ間近ですので、お早めにお買い上げ店またはセイコー取扱店で電池交換をご依頼ください。尚、電池交換いたしますとすべてのメモリーは消去されますので、必要なデータがある場合は交換前にプリントアウトしてください。

⚠ 警告

1. お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
2. やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池は直ちに幼児の手の届かないところに保管してください。
3. 万一飲み込んだ場合は、身体に害があるため直ちに医師とご相談ください。

⚠ 注意






1. 破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
2. この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
3. 「常温（5℃～35℃）からはずれが温度」下で長時間放置すると電池が漏液したり、電池寿命が短くなる場合があります。

⑧使用上の注意とお手入れの方法

⚠ 注意

●防水性能

- ・このストップウォッチの防水性能は日常生活防水です。
- ・水分のついたままボタンの操作をしないで下さい。時計内部に水分が入る場合があります。

				
洗顔や雨など一時的にかかる水滴。	水泳や水仕事など長時間水にふれる場合	空気ボンベを使用しないスキューバダイビング	空気ボンベや、ヘリウムガスを使用する本格的な潜水。	水滴がついた状態でのボタンの操作。
日常生活用防水	○	×	×	×

保管について



- ・「-10℃～+60℃からはずれた温度」下では、機能が低下したり、停止する場合があります。

※この時計は常温（5℃～35℃の範囲内）において安定した精度を得られるように調整してあります。よって、温度によって多少の進み遅れが生ずりますが、常温にもどればもとの精度にもどります。

⚠ 警告

- ・日常生活用防水（3気圧）の時計は水の中にいれてしまうような環境での使用はできません。



- ・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。



- ・強い振動のあるところに放置しないでください。

- ・極端にホコリの多いところに放置しないでください。

⚠ 注意

- ・提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによって衣類や手・首などを傷つけることがありますのでご注意ください。





- ・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。  
(薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含有するものーガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤などー水銀、ヨウ素系消毒液など)
- ・温泉や防虫剤の入ったひきだしなど特殊な環境に放置しないでください。

### ●定期点検について

- ・ながくご愛用いただくために、2~3年に一度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。保油状態・漏液の有無・汗や水や水分の侵入などをお買い上げ店で点検をご依頼ください。点検の結果によっては分解掃除を必要とする場合があります。

### ⑦補修用性能部品について

- ・この時計の補修用性能部品の保有期間は、通常7年間を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。(補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。)
- ・修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- ・修理のとき、代替品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

### ⑧アフターサービスについて

- ・万一故障した場合には、お買い上げ店にお持ちください。保証期間内の場合は保証書を添えてください。
- ・修理期間経過後の修理およびこの時計についてのご相談はお買い上げ店でうけたまわっております。なお、ご不明の点は冒頭の「セイコーウオッチ(株)お客様相談室」にお問い合わせください。
- ・保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。

### ⑨付属品、オプション品の使い方

- 別売専用キャリングケースを使用した場合 (SVAZ003)



- プリンタ肩ヒモを使用した場合



## 6 故障とお考えになる前に

修理を依頼される前に、もう一度、次の表に従ってお調べください。

症 状	考えられる原因	処 置	症 状	考えられる原因	処 置
プリンタのパワースイッチをON側にしてもモーターが動かない	●電池が消耗していませんか ●電池の方向は正しいですか ●紙がつまっていますか	●新しい電池と交換します ●電池を正しい方向に入れ直します ●紙を除去します	スタートボタンを押したとき印字はするが紙を送らない、あるいは紙送りが不規則	●紙がつまっていますか ●電池が消耗していませんか	●紙を除去します ●新しい電池と交換します
紙送りスイッチを押しても紙送りしない	●電池が消耗していませんか ●紙がつまっていますか ●ロールペーパーがつづれていませんか	●新しい電池と交換します ●紙を除去します ●ロールペーパーの形を丸く整えます	スタートボタンを押しても印字もしないし紙も送られない	●電池が消耗していませんか ●電池の方向は正しいですか ●プリンタのパワースイッチはONになっていますか	●新しい電池と交換します ●電池を正しい方向に入れ直します ●パワースイッチをONにしてからスタートボタンを押します ●コードをきちんとさし込みます ●水・異物を取り除きます
スタートボタンを押したとき紙は送るが正しい印字をしない、あるいは印字をしない	●コードがきちんとさし込まれていますか ●コードの接点部に水・異物がついていませんか ●紙の表裏は正しいですか	●コードをきちんとさし込みます ●水、異物を取り除きます ●紙を正しく入れ直します		●コードはきちんとさし込まれていますか ●コードの接点部に水・異物がついていませんか	●コードをきちんとさし込みます ●水・異物を取り除きます

※処置が困難な場合は、お買い上げ店へお持ちください

## 7 製品仕様 (ストップウォッチS143)

- 水晶振動数……………32,768Hz(Hz=1秒間の振動数)
- 精度……………常温(5℃~35℃)において±0.0006%以内  
月差換算±15秒以内
- 作動温度範囲……………-10℃~+60℃
- 表示温度範囲……………0℃~+50℃
- 表示内容……………〈ストップウォッチ表示〉  
3段表示  
時・分・秒・1/100秒(10時間計)、スピリット/ラップ/トータルタイム又はランニングラップタイムの一括表示、ブロック数、スプリット回数計(0~999回まで)、300メモリー・リコール、BLOCK、SPLIT、LAP、STOP、RECALL、モード表示、メモリー使用量表示、BATTマーク  
〈時刻・カレンダー表示〉  
時(24時間制)、分、秒、年、月、日、モード表示、ID番号(OFF/01~99)、コントラスト調整表示
- 表示体……………FE型ネマチック液晶
- 使用電源……………リチウム電池 セイコー純正電池コードSB-T74(CR2430)1個
- 電池寿命……………約3年(但し、ストップウォッチ3時間/1日を基準としておりますので、それ以上使用した場合は3年に満たないうちに容量が切れます)
- 電子回路……………C-MOS-LSI 1個
- 電池寿命切れ予告機能付き

※上記の製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

## 8 製品仕様 (プリンタSP12)

- プリンタ……………形 名:MTP102  
印字方式:感熱式シリアルドット方式  
印字方法:一方向印字(左から右)  
印字スピード:約1.5行/秒(DC5.0V、25℃の時)  
印字桁数:1行13桁(スペース含む)
- 記録紙……………感熱紙:ロールペーパー-S950  
幅 38(+0~-0.5mm) 全長 2400mm以上(1本で約700行印字)
- 電源……………DC6V(単3乾電池4個使用)
- 消費電力……………印字時:約1.5W(DC6.0V)  
パワースイッチON時(印字無):約0.02W(DC6.0V)
- 電池寿命……………マンガン乾電池使用の場合:約10,000行印字(ロールペーパー約14本分)  
アルカリ乾電池使用の場合:約20,000行印字(ロールペーパー約28本分)  
〔使用温度24℃において、ストップウォッチS123、S124、S143、S701と接続して、連続して印字した場合。電池の種類および使用方法などにより、多少の変動があります。〕
- 作動温度範囲……………0℃~40℃温度補正:有(温度が変化しても印字の濃さは変わりません)
- 外形寸法・重量……………タテ130.8mm×幅81.6mm×厚さ28.5mm、約220g(電池、ロールペーパー含む)

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。